学校番号	２０２

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	古典Ｂ（β）	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	「精選　古典Ｂ【改訂版】」（三省堂）						
副教材等	「大学入試国語頻出問題 1200　四訂版」（いいずな書店） 「完成日本文学史ノート　三訂版」（京都書房）						

1　担当者からのメッセージ

・3 年生の古典では、有名な古文の作品に親しむとともに、正しく場面や心情等を理解するために語彙力や文法の知識をしっかりと身に付けてください。
・予習として必ず本文を読んだうえで、ノートに書き写し、意味調べをしておきましょう。
・授業内容をしっかりと理解し、現代を生きる自分に引き付けて考える姿勢を養いましょう。
・授業の後には内容を振り返って復習してください。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

2　学習の到達目標

・古文の語句や文法の知識を用いて、古文を的確に読むことができる。
・古典学習を通じて、ものの見方、感じ方、考え方を広げ、人生を豊かにする態度を育んでいる。
・基本的な文法・単語の力とともに、現代に生かせる語彙力・分析力を身につける。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a．関心・意欲・態度	b．読む能力	c．知識・理解
観点の趣旨	古典読解力を高め、作品の価値について考察し、日本文化の特質や中国文化との関係について理解を深めようとする。	内容及び思想や感情を、構成や展開に即して的確に捉え、ものの見方・感じ方・考え方を豊かにしようとする。	古典の語句の意味、用法、文の構造、文法、音声、表記等を理解し、知識を身に付けている。
主たる評価	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等）	記述の確認と分析 （ワークシート） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート等） 定期考査、小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。

学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４ 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点			単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c		
1学期	中古の評論・随筆を読む	教材： 『古今和歌集 仮名序』 「やまと歌は」 『枕草子』 「ありがたきもの」 「二月つごもりごろに」	◎	◎	◎	a：「歌」の成立の経緯や仮名成立時の随筆を読んで、古文黎明期の文学のあり方を理解している。 b：他者の考えや分析を共有し、自分の考えをまとめられている。 c：古文特有の主語省略や長文表現に注意し、正しく読み取れる。基本的な文法を理解している。	a：行動の観察 記述の点検 ノート b：記述の確認と分析 ワークシート 定期考査 c：行動の観察 記述の確認 ノート　ワークシート 定期考査 小テスト
	中古中世の評論・日記を読む	教材： 『無名草子』 「文」 『紫式部日記』 「和泉式部と清少納言」	◎	◎	○	a：なじみのある人物の評論を読み、構成や展開に即して的確に内容を捉え、現代に引き付けて理解している。 b：中古の評論や人物評を通じて、当時の価値観にも理解を深めながら、正しく読み取れる。 c：基本的な文法を身に着け、読解に生かしている。	a：行動の観察 記述の点検 ノート b：記述の確認と分析 ワークシート 定期考査 c：行動の観察 記述の確認 ノート ワークシート 定期考査 小テスト
2学期	作り物語・歴史物語を読む	教材： 『大鏡』 「花山院の出家」 『源氏物語』 「心づくしの秋風」	◎	◎	○	a：代表的な作り物語・歴史物語を読んで、登場人物の行動や心情をつかみ、読みを深めている。 b：他者の考えや分析を共有し、自分の考えをまとめられている。 c：主語省略や長文など複雑な表現に注意し、正しく読み取れる。敬語や助詞・助動詞の知識など高度な知識を確認し、解釈に生かしている。	a：行動の観察 記述の点検 ノート b：記述の確認と分析 ワークシート 定期考査 c：行動の観察 記述の確認 ノート ワークシート 定期考査 小テスト

	中古日記文学・中世芸能論を読む	教材： 『蜻蛉日記』 「うつろひたる菊」 『和泉式部日記』 「夢よりもはかなき世の中」 『風姿花伝』 「下手は上手の手本」	◎	◎	○	a：中古の自己表現のあり方および中世における芸能の確立について、考えを深めている。 b：主語省略や長文など複雑な表現に注意し、正しく読み取れる。 c：敬語や助詞・助動詞の知識など高度な知識を確認し、解釈に生かしている。	a：行動の観察 記述の点検 ノート b：記述の確認と分析 ワークシート 定期考査 c：行動の観察 記述の確認 ノート ワークシート 定期考査
3学期	近世古典作品を読む	教材： 『西鶴諸国ばなし』 「大晦日は合はぬ算用」	◎	○	○	a：近世文学特有の話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を考えて面白さを理解している。 b：他者の考えや分析を共有し、自分の考えをまとめられている。 c：近世文学特有の言い回しをつかみ、正しく読み取れる。近世の語彙・語法を理解し、読解に生かせている。	a：行動の観察 記述の点検 ノート・ワークシート b：記述の確認と分析 ワークシート　定期考査 c：行動の観察 記述の確認　ノート　ワークシート　定期考査

※　表中の観点について　　a：関心・意欲・態度　　b：読む能力　　e：知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。